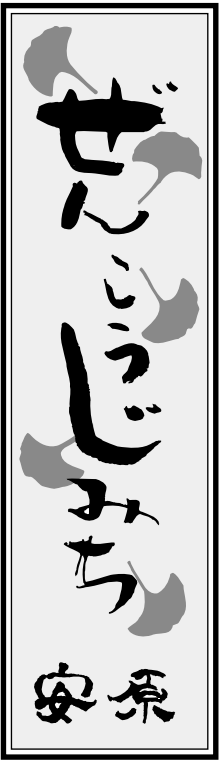




今までの人生で余り記憶の無いような、トリプル台風が発生し、相当な被害が出るのではないかと心配しましたが被害も少なくすみました。は、小雨模様でしたが、無事、安原の夏まつりサマーナイトフェスタ IN 安原が七月十八日(土)開催されました。

サマーナイトフェスタ 2015



2015

十五時から子供達に、「妖怪ウォッチ」誕生の秘密だあり、六十名以上の方が集まり、視聴覚室が狭いくらいでした。子供たちが大勢いることは、にぎやかで活気があふれ

地域の話 ① 今年もぼんぼん参加!

次々新企画発信ゲストハウスの「○○で集まれ!」新町のカンテラゲストハウスの連は四十数名、ぼんぼん参加は三年連続です。今年の「ぼんぼん参加」とこれからの新町でのイベント活動について栗谷さんにお聞きしました。衣装の青いTシャツには有名なロゴと4コマ漫画が描かれています。色は変えてもデザインは毎年共通です。味噌蔵の仄かな香りと蔵の雰



踊り楽しんだ夏のイベントになりました。その他の現在進行形の取り組みを教えてくださいました。【今宵の糺は金曜日! 持ち寄り手前味噌】参加料無料で、食べ物飲み物を一品持寄り、楽しく夜を過ごそう…。【松本卵かけごはん部】創造力をもつ

ます。十七時より廣瀬連合町会長の挨拶があり、滝澤安原地区公民館館長の開会宣言で幕が開きました。十七時三十分より、あさひ学園による太鼓演奏、信州大学吹奏楽団の演奏があり、子供たちは輪投げで賞品をゲット、大人達は朝早くから作ってくださったおにぎり、おつまみをいただきながら、生ビール片手に交流ができました。最後はお楽しみのビンゴ大会、早くにビンゴになる人、私はいつもそうですが、なかなかビンゴにならず、くやし



も、和気あいあいのうちに無事終わりました。

て「こんな素材・食材が合うの?」【無限カレー部】三十名も集う、わが日本の国民食を食らう。【燈発歴史探訪街歩きツアー】※9月6日開催【歩けば楽し北深志...】と、まさに楽しそうな催しです。毎日のちよつと気になる事が題材です。小さな宿の造形力は古い町の注目の的です。

いちよう並木



【イタリア】年々今年には特別暑いと思わせる猛暑の更新、テレビでも熱中症予防にエアコンの使用を促す事態となり、日本ばかりでなく、イタリアでは車が溶け出したり、インドでは気温四十七度にもなり横断歩道の塗装が溶けたりと写真入の報道を見て驚くばかりです。

また、被害の多い台風も今年には発生ペースが早く、一月のうち一号、五月までに七号、八月も三号ほど発生、これから来る秋台風のシーズンが思いやられます。長年かかって進んだ地球の温暖化が原因だとしたら人間の力で将来取り戻せるものなのでしょうか。小さい子ども達に行く末が心配です

八月のお盆前後から朝晩は少し涼しくなった感じですが、日中の暑さはまだまだで、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように秋の彼岸の頃にはかなり涼しくなり、ようやく猛暑から逃れられるかと思

四年ぶりの 市政まちかどトーク

七月二十八日(火)、地区公民館で「安原地区市政まちかどトーク」が開催されました。

「市政まちかどトーク」は、市民の皆さんとひびきを交えて市政に対する提言を直接聴き、明日の市政に反映させるため市長をはじめ市理事者が各地区へ伺って開催するもので、四年ぶりとなった安原地区を皮切りに、今年度も各地区で開かれます。

市側からは市長、副市長と各部長の計十二名が出席し、安原地区からは五十一名の参加がありました。

開会前には平成二十六年度市政ニュースが上映され、昨年一年間の松本市の出来事を振り返ることができました。望月安原地区町会連合会副会長による開会に続き、菅谷市長から「安原地区は地域づくりに先進的な取り組みをしておられ、感謝している。四月に『地域づくり部』を設置した。若者を地域で育て若い力で松本地域を活性化し、松本らしい地方創生を行っていききたいと考えている」と挨拶がありました。廣瀬町会連合会会長も「今年度地区で



安原地区市政まちかどトーク

頃の課題、悩み解決の提案を行う。皆さんもフリートークで質問してほしい」と挨拶しました。

懇談では、まず「こころの交流 絆育む町安原をめざして」と題するスライドに合わせ、廣瀬会長から、地区の取り組みと当面する重要課題として「見守り安心ネットワークづくり」、「地域包括ケアシステムの構築」、「地域防災体制の整備」が提言されました。

続いて保科安原町会長より、災害時要援護者リスト及び個別表の記載情報に関する定期的な更新についてと、要見守り対象者に関する必要情報の提供についての要望が出されました。これに対して市長から、市内三十五地区に地域づくりセンターを立ち上げ松本モデルとして地域包括ケアシステムを構築しているところだが、基本になるのは地域の

北部交番 坪田尚行所長の 紹介と心意気



今年十月、勤続35年を迎えるお巡りさんです。

驚く事に地域警察での勤務は24年ぶり。11月の警察署で29年間、生活安全警察の仕事に係わり、風俗営業・古物商等の許可事務、少年事件や特別法の事件捜査、防犯協会等の行政事務を中心に幅広い



業務に従事後、この度、北部交番所長として赴任されました。

北部交番は所長他5名の警察官と一人の相談員総勢7名体制で構成され、3交代制の当直勤務に就き、24時間少数精鋭で地域の番人としてチームワーク良く治安維持に努めておられます。

信頼される交番を目指し、日夜過酷な勤務にも耐え、我々の為、任務に就く警察官に頭が下がりました。

北部交番管内は、信州大学を始め高等学校・特殊学校・小中学校・幼稚園・保育園等が集中する県内でも際立って高い文教地区。その為、通学時の事故防止には特に力を注ぎ対応しております。

キッセイ文化ホールや市総合体育館等で開催される数々

フリートークでは、災害時の被害を少なくするための取り組み、道路拡張の要望、特定空家への対応、北門井戸の砂場の悪臭と堀の雑草への対策、ゴミゼロデーの運動内容への要望など、活発に意見が交わされました。



を先取りする新たな都市モデルだと思ふ。市民の皆様のご協力をお願いしたい。」としめくりました。

最後に市長が「町づくりは市民一人一人の参加が必要。健康寿命延伸都市が時代